

2018年1月4日号

ニュース&レポート

トヨタのつながる車が保険を変革 安全運転なら保険料安く

トヨタ自動車の「コネクテッドカー」が集めた情報を基に保険料を割り引く自動車保険が2018年1月に登場する。情報端末となったクルマが既存のサービスを変えようとしている。

トヨタが進めるデジタル変革の波が自動車保険にも及び始めた。あいおいニッセイ同和損害保険の「タフ・つながるクルマの保険」はトヨタの「コネクテッドカー」が集めた情報を活用する初の自動車保険。急加速や急減速、走行速度などを分析し、安全運転なら保険料を割り引く。2018年1月以降発売の「レクサス」と同年夏以降発売の「クラウン」の一部が対象となる。

コネクテッドカーの電子制御ユニット（ECU）が出力するデータを集める。車載機器の「DCM（専用通信機）」と携帯電話回線を介してトヨタの用意するクラウド「トヨタスマートセンター」にデータを送り、保険料の算出に使う。DCMを利用するには年1万2960円の料金が別途かかる。

あいおいニッセイ同和損保はトヨタが提供する情報基盤のいわばユーザーとなる。あいおいニッセイ同和損保の梅田傑商品企画部企画グループ担当次長は開発にあたり「2015年ごろから両社が収集してきた数万台の自動車のデータと事故情報を匿名化した上で組み合わせた」と話す。これらを分析して、どんな運転が事故につながるかを導き出すアルゴリズムを構築した。

カーナビの位置情報も利用する。同じ急加速や急減速のデータでも、高速道路と一般道では安全運転かどうかの判定に違いが出るからだ。

保険料は基本保険料と運転分保険料からなり、安全運転かどうかは100点満点のスコアで評価する。加えて、保険料の料金テーブルは1キロメートル刻みの走行距離に応じて月ごとに変化する。例えば、年間走行距離が8000キロメートルで10等級、安全運転スコアが80点以上の場合、運転分保険料に対して最大80%の割り引きが月払い時の翌月の保険料に適用される。

スマホアプリで手軽に運転診断

損保ジャパン日本興亜も運転特性に応じて割り引く自動車保険の提供を始める。2018年1月1日以降に初めて保険を契約する顧客が主な対象となる。無料のカーナビアプリ「ポータブルスマイリングロード」を入れたスマートフォンを起動し、5日間で計10時間以上の「運転診断」で割引率を決める。保険料全体に対し最大20%割り引く。ソニー損害保険が専用の計測器を使う同様の保険を提供しているが、スマホで運転特性を取得する保険は初となる。

運転免許証番号を登録すれば、契約者本人の自動車以外でも運転を診断できる。損保ジャパン日本興亜の森慶一郎リテール商品業務部商品開発グ

検索

コラム目次

銀行法、GDPR、民法法、IoT減税… 知らないとピンチ、今年の法改正

生徒ごとに最適な学習順を指南 AI駆使、リクルートが新サービス

国内最大級、JALが4億円被害 企業版振り込め詐欺が日本狙う

社員の顔画像からストレス診断 新サービス、働き方改革を支援

スパコン開発のPEZY社長逮捕 NEDO助成金を不正受給容疑

新元号カウントダウン500日 日本MSは「合字」対応へ

ICカード決済義務まで半年 コンビニ大手「違法状態」も

バックナンバー



バックナンバー一覧

アクセスランキング

【20の技術が変える未来】

予測01 職場の人手不足が解消

【20の技術が変える未来】

予測07 航空・自動車も接続大開放

【ニュース&レポート】

銀行法、GDPR、民法法、IoT減税… 知らないとピンチ、今年の法改正

【20の技術が変える未来】

予測09 3D地図でGoogleに一矢

【20の技術が変える未来】

予測20 「門前払い」が消える

【20の技術が変える未来】

予測10 中小企業、デジタル下剋上

【ニュース&レポート】

スパコン開発のPEZY社長逮捕 NEDO助成金を不正受給容疑

【インタビュー】

IT部員はボーナスいっぱい ブロックチェーン、適材適所で

【20の技術が変える未来】

予測04 さらばマルウェア感染

【20の技術が変える未来】
予測02 毎週、管理職の送別会

関連書籍

SEよ大志を抱こう



(A5判、276ページ、1,680円)

齊藤 壯司

0

日経コンピュータに関するツイート

Twitterで表示